



# 月刊 千葉労働

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番  
(公) 043(222)7207 番

97.6.25 No. 4616

# いよいよ狭山・国鉄・沖繩 大集会

## 高崎の結集

六月二〇日夕方、国労高崎地本主催による、「今考えよう! じんけんANDへいわー沖繩・狭山・国鉄をむすぶれんたい集会」が、高崎労使会館において開催されました。

当初、天気予報では台風七号が直撃することでしたが、台風も気をきかしてくれたのかその心配もなく、集会は階段、ロビーにまで溢れる千五百名の参加で大盛況でした。

集会の内容は、「れんたい報告」として、「狭山から」、石川一雄さん、「沖繩から」、反戦地主会の照屋秀傳会長、「国鉄から」、国労闘争団全国連絡会議の神宮義秋議長という、民衆のたたかひの先頭に起つ三者が一同に会し、アピールするという画期的なものでした。動労千葉も動労連帯高崎の仲間と共に集会に参加しました。

オープニングの「うちちゃんバンド」の演奏から、主催者あいさつにたった国労高崎地本の中村副委員長は、「今日、国労組合員は感激している、こういう集会をやりたいかった」と発言しました。

狭山から、石川一雄さんは、七 八月最大の山場をむかえた

狭山第二次再審闘争への決起と「権力を倒すために、真正面からたたかっていく」と意気軒高です。

沖繩から、照屋会長は、「沖繩・狭山・国鉄、根っこは一つ日本の国家権力だ」と明快。

国鉄から、神宮議長は、「政府・自民党、敵を見失ってはならない。国労はすばらしい、たたかってよかったという解決、全面勝利をかちとる」と、一〇年間の清算事業闘争の不屈の決意を表明しました。

集会アピール採択では、高崎地本の山田書記長が、「この力をもって反転攻勢へたつ」と高らかに宣言し、青年部の音頭で元気いっぱいしのシュプレヒコールと団結ガンバローでしめて、れんたい集会は大成のうちに終了しました。

沖繩・狭山・国鉄をむすぶれんたい集会  
主催 国労高崎地本



千葉労組交流センター第七回総会開かれる 一六ノ八千葉市一

六月八日、千葉労組交流センター第七回定期総会が千葉市で開催された。

県内の諸団体や全金本山長谷委員長らから連帯のあいさつを受けた後、九七年後半をガイドライン闘争と国鉄闘争を軸に闘っていく方針が鮮明に提起された。特別報告では五月沖繩現地闘争に参加した国労の仲間からの報告が、動労千葉からは川崎執行委員が解雇撤回闘争の勝利の報告を行なった。



## サークル協会の総会

6月14日、サークル協定期総会が開催され、当面する7、2地引総大会、団結祭典等の取り組みが決定されました。

新役員は以下のとおり――

1997 年度サークル協議会役員名簿

役職名	氏名	支部
議長	中野 洋	本 部
副議長	赤羽根 宣 男	"
事務局長	高石 正 博	"
事務局次長	益川 義 行	新 小 岩
運営委員	宇田川 一 夫	幕 張
"	戸田 隆 雄	千 葉
"	関根 一 美	銚 子
"	田中 広 胖	勝 浦
"	石川 義 雄	京 葉
会計監査員	石川 二 郎	新 小 岩
"	鎌田 正 則	館 山